



# 公認会計士法友会会報

公認会計士法友会

第21号

平成29年1月7日

## 平成27年度定期総会・研修会・懇親会を開催(P.5)



## 平成28年度公認会計士試験合格祝賀会・会員研修会のお知らせ

(日時)平成29年1月21日(土)

会員研修会 受付 16:00 講演 16:30

法政大学ポアソナード・タワー6階 610

演題:『土業の原点、成り立ち』(仮)

講師:法政土業の会 金子征史会長

(法政法曹会会長)

合格祝賀会 受付17:45 開宴 18:15

法政大学ポアソナード・タワー26階(スカイホール)

(会費)

公認会計士 10,000円

試験合格者及び会計士補5,000円

※平成28年度会費5,000円を含みます。

出欠席のご連絡は、送付しております往復ハガキもしくはメールにてお願いいたします。

## 目次

会長挨拶	2	奨学支援金制度(簿記チャンピオン大会)報告	7
東北法友会発足	3	平成27年度公認会計士試験合格者の近況	8
雑感	4	ゴルフコンペ関係	9
平成27年度定期総会時の会員研修会の報告	4	各種参加報告	9
平成27年度定期総会の報告	5	年度会費及び寄付金のご協力をお願い	12
「法政土業の会」が設立しました!	6	Books!	12
		編集後記	12

同封物:会報、郵便口座振替用紙

## 会長挨拶

会長 太田 荘一(昭和52年卒)



公認会計士法友会の会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

各方面でのご活躍、お慶び申し上げます。2017年が皆様にとって輝かしい年でありますことを祈念いたします。

昨年度より、和食克雄前会長(現顧問)から会長を引継ぎいたしましたから、早いもので既に1年半が経とうとしております。この間、河西事務

局長をはじめとする役員各位のご尽力と、会員の皆様の多大なるご支援・ご協力のおかげをもちまして、大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを益々高めることができました。皆様のご尽力とご協力に対しまして、深く感謝申し上げます。

何度も申し上げますが、私自身といたしましては、法友会の目的である「会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する」という基本路線を継承し、これを更に発展させ、充実・拡大していくと共に、新しい若い世代の会員への橋渡し役と任じております。

しかしながら、現状、私自身の努力不足から、まだまだ不十分な点が多々あり、和食顧問や諸先輩方から今でもご指導ご鞭撻を受けているところであります。

あと半年の任期ですが、なんとか所期の目的を少しでも果たせるよう努力してまいりますので、引き続き、皆様方のご協力とご支援をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

さて、この7月から12月までの主な法友会活動についてご報告いたします。

平成28年7月開催の2016年定期総会において、今年度の重点施策活動といたしました次の4項目について取り組みました。

- ・若手会員会計士の法友会活動への参加を増やす
- ・母校の発展のための大学校友会関係団体への積極的参画
- ・後進の育成のための高度会計人育成センターとの連携
- ・寄附講座の充実(再開に向けて)

その具体的活動実績としましては、以下の通りです。

○ 公認会計士協会の全国各地区での行事の際に、地方在住の法友会会員各位との交流親睦を図ることを目的に、9月16日にふくしま研究大会での東北地区在住会員の諸先輩方との「東北法友会(会員懇親会)」の開催と、10月6日には公認会計士フォーラム茨城大会での

小林保弘茨城県会長と若手会員との親睦ということで、交流の場を広げていきました。今後も来年の公認会計士協会研究大会の金沢での開催時や、法政大学校友会の全国卒業生の集いの際には、参加会員と地区在住会員との交流会を企画していきたいと思っておりますので、是非ともご参加のほどお願いいたします。

このほか、大手監査法人において、各法人内の若手法友会会員を中心に、法人内会員懇親会が開催されています。法人内のパートナー会員からスタッフ会員までの交流の場として、是非、継続拡大していきたいと思っておりますので、監査法人所属の会員各位におかれましては、積極的なご参加をお願いいたします。

○平成28年11月26日に開催いたしました「法政士業の会」設立総会及び懇親会におきましては、参加会員有志の皆様にはお忙しいところをご出席いただき、誠にありがとうございました。(会の詳細につきましては、後掲の報告ご参照。)

おかげさまで、今回参画の五つの士業OB団体のうち、当公認会計士法友会が最多の26名の出席者となりました。また、「法政士業の会」の役員には、当法友会から、和食克雄顧問が副会長に、小職と山田努副会長の2名が理事に、小場貴之監事が監事に、それぞれ就任いたしました。法友会としては、今後とも「法政士業の会」の運営活動を通じての母校の発展や後進育成にも積極的に関わっていく所存であります。会員の皆様におかれましても、今後の「法政士業の会」の活動や各種行事にも、是非積極的にご参加いただけますようお願いいたします。

○平成28年11月12日に開催されました高度会計人育成センター主催の学内簿記チャンピオン大会終了後の参加学生との交流会には、法友会の若手会員有志の皆さんには多数のご出席をいただき、ありがとうございました。

今回の簿記チャンピオン大会から、当公認会計士法友会の奨学支援金制度の対象者として、成績上位者6名の方に目録を贈呈いたしました。(詳細につきましては、後掲の報告ご参照。)公認会計士試験の受験を条件に専門学校の学費を補助するものであり、既に1名の方から申請がありましたが、公認会計士試験合格を目指す法政大学の学生への奨学支援として、今後も活用実績状況をフォローしたうえで、継続拡大していきたいと考えております。

当該奨学支援金の原資は、会員の皆様からの会費及び寄付金で賄っております。今後さらに予算規模を拡大するため、会員の皆様には浄財をお願いしているところでありますが、より一層のご理解とご支援のほどお願い

申し上げます。

○公認会計士法友会としては、豊富な実務経験を持って各方面で活躍している公認会計士の会員諸氏の知見を広く学生に伝えることが母校の発展や後進の育成にもつながると考え、一昨年まで、経営学部の寄附講座「実践会社実務論」を開講しておりましたが、このたび、来年度の秋学期(平成29年9月から平成30年1月まで)での開講が決定いたしました。

現在、開講に向けて鋭意準備中ではありますが、今回の講師をお願いすることになっております会員各位におかれましては、お忙しいところを大変ですが、ご対応のほど、是非よろしく願いいたします。(次号に内容詳細の掲載予定。)

さて、平成28年公認会計士試験の合格発表があり、合格者は前年比5.4%増の1,108人ということで、合格者の増加は9年ぶりで、若年層を中心に受験生が前年よりも増えていることがその要因とされています。これは、昨今、監査法人が採用を継続的に増やし、試験に合格しても就職できない「会計士浪人」の発生を抑えていることが大きな影響と思われるが、公認会計士協会の後進育成や各大学や会計大学院の関係者の地道な活動や努力がやっと実を結びつつあるということも特筆すべきかと思えます。

我が法政大学においても、現在合格者を鋭意把握中ですが、今回は現役生合格者が過去最高の9名ということで、2年生での合格者も出ており、学内関係者のご努力に敬意を表したいと思えます。今後益々の成長が楽しみです。

平成29年1月21日(土)には、田中優子法政大学総長や日本公認会計士協会の関根愛子会長をお迎えして、当会主催での「公認会計士試験合格祝賀会」を開催いたします。会員各位におかれましては、是非ともご出席のうえ、合格者の船出を祝していただけますようお願い申し上げます。

当法友会にも多くの新しい仲間が増えることが期待されます。将来のある若い皆さんが生き活きとして集い結ぶ業界・魅力ある土業となるよう、法友会としてもやるべきことはたくさんあります。

私自身、監査法人を定年退職しておりますが、必ずしも十分な会務活動ができずにご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、会員の皆様をはじめとする関係者の皆様のご協力のもと、精一杯頑張り、残りの任期を全うすることができればと思っております。

以上

## 東北法友会発足

今年9月に日本公認会計士協会の研究大会が福島県郡山市で開催されました。その際、太田会長の発案により、非公式ではありますが、東北法友会(俗称)が発足しました。これは太田会長が、「会員相互の交流親睦ということで、特に地方在住の会員の方々はなかなか大学での総会や祝賀会に参加頂くのは大変ですので、このような地区開催の協会研究大会等の機会に親睦が図れば。」という趣旨で、公認会計士協会東北会所属の法友会会員にお声掛けをし、集まって頂きました。

研究大会懇親会後に二次会として、総勢11名のご参加を頂きました。参加メンバーは以下の通りです。

青森県:細越善次郎さん(1971年経営)

岩手県:堤 研一さん(1979年経営)

宮城県:尾町雅文さん(1975年経済)

古川直磨さん(2003年経営)

山形県:五十嵐正明さん(1974年経営)

福島県:鈴木和郎さん(1980年経営)

富樫健一(1984年経営)

東京から:太田会長、飯塚昇さん、酒井宏暢さん

川村敦史さん

飯塚さんが持参された写真データを元に先輩方も、旧交を温めておられました。私も、初めてお会いする諸先輩もおられ、色々とお話をすることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後、公認会計士協会研究大会の開催地で、地方在住の会員の方々が再会し、親交を深められ、各地で地方法友会が発足されることを願っております。



## 雑感

森口 輝来会員(平成11年卒)

## 【自己紹介】



法友会の皆様、いつも大変お世話になっております。今年度から法友会幹事として微力ながら会の運営に参加しています、森口輝来です。まずは、簡単に自己紹介をいたします。私は会計士二次試験合格後、監査法人に入り6年半監査業務に従事しました。その後、監査法人時代の先輩の誘いもありコンサルティング会社に転職して現在に至ります。

プライベートでは2013年3月に子供が生まれ、それまでとは時間の使い方がガラリと変わりました。所謂、ワークライフバランスですが、「時間」という概念を強く意識するきっかけとなりました。息子は、ゆくゆくは自立して一緒に過ごす時間は



減っていくので、それまでは出来るだけ一緒に時間を作り、色々なことを経験させたいと思っています。

息子が初めてスキー場に行った時の写真です。  
(2016年12月)

## 【「節約時間価値」と「創造時間価値」】

「時間」を考える上で、私が参考にしている「時間価値」という概念をご紹介します。「時間価値」とは文字通り「時間」の「価値」ですが、「価値」はそもそも制約(身分・移動・収入・情報・空間などなど)や希少性から生まれます。

そして、「時間価値」を生む付加価値は、「その物やサービスを使うことによって時間が短縮でき、有意義な時間が生み出される=『節約時間価値』」と「その物やサービスを利用することによって、有意義な時間が生み出さ

れる=『創造時間価値』」の2つに収斂するというものです。紙面の関係上、恐縮ですが詳しくは、『時間資本主義の到来』(松岡真宏著 草思社)をご一読いただければと存じます。

例えば、日本でも2016年12月5日にアマゾンダッシュボタンが発売となりましたがこれはまさに、煩わしい日用品の買い足しに取られる時間を省略したいというニーズに応える「節約時間価値」を追求した商品と言えます。一方で、「創造時間価値」は個々人によって価値基準が異なるものですが、私に取っては息子とのスキー体験を特別な時間として提供してくれる旅行プランですし、例えば竹富島のほしのや、2016年ですとPokemon Goなどイメージしやすいかと思います。更に自動車の完全自動運転が普及してくる時代には、休日ドライバーのお父さん(笑)には、それまで節約時間価値と見做されていた移動が創造時間価値に代わるということも予想されます。

「時間価値」は、ビジネスの話だけでなく個人の時間の使い方や配分を考える上でも役立つ概念かと思っております。ご紹介させていただきました。

昔、記憶が不確かで恐縮なのですが、日経新聞のコラムでクリエイティブを生み出すためのヒントを読みました。クリエイティブな発想は突然湧いて出てくることはほとんどなく、毎朝など決まった時間にクリエイティブな発想をする時間を取るのが重要、ということを経験した先生と生徒の会話で表現したものでした。既に心掛けていらっしゃる方も多いかと思いますが、私自身もこのコラムを読んで、上記で言う「創造時間価値」をどうやって生み出すかを考える時間を日々確保するようにしています。

## 【最後に】

コンサルティング、監査法人・会計事務所などは、まだまだ労働集約的な面も多いかと思っております。ご自身のみならず皆様の部下や従業員がクリエイティブなことに時間を割ける環境作りを考えるきっかけになれば幸いです。まだまだ寒い日が続きますのでお身体どうぞご自愛ください。

## 平成27年度定期総会時の会員研修会の報告

「粉飾・最近の事例からの考察」と題して、和食克雄顧問より講義を頂きました。事例としては最近のT社を取り上げ、専門家としてどう考えるべきかという視点で、講義が進みました。

法友会会員だけでなく、大学教授も参加され、熱心に聞いていました。

(公認会計士法友会事務局より)



平成27年度定期総会の報告

平成28年7月11日に平成27年度定期総会を開催いたしました。今回の総会では、「法政士業の会」への参加(P.8も参照)、「公認会計士試験挑戦者に対する奨学支援金制度」の創設(P.9及び会報第20号も参照)の2つが特に重要な審議事項となり、今年度の事業計画・予算案も含め、総会で承認されました。

まず、最近の会員数の動向について報告をしました。

H24	H25	H26	H27	H28	単位:人
645	657	667	683	699	

法友会参加の意思を表明しない・参加しないと意思表示した人は累計で約100人となっています。

続いて、昨年度の事業活動の報告を行いました。

- ・定期総会及び懇親会の開催
- ・法友会活動の活性化  
(組織変更、若手会員の各種イベントへの参加など)
- ・会員研修会の開催
- ・公認会計士試験合格祝賀会の開催
- ・会報の作成・発行
- ・会員名簿の発送・更新
- ・法友会のプレゼンスを高める活動の推進

- ・法政会計人会との連携、他大学の公認会計士会との交流
  - ・ゴルフ大会への参加
- 続いて、今年度の活動計画です。昨年度の活動内容を引き続き展開していくことにしています。
- ・定期総会及び懇親会の開催
  - ・法友会活動の活性化  
(組織変更、校友会活動への参加、寄附講座実施等)
  - ・会員研修会の開催
  - ・公認会計士試験合格祝賀会の開催
  - ・会報の作成・発行
  - ・会員名簿の発送・更新
  - ・法友会のプレゼンスを高める活動の推進
  - ・法政会計人会との連携、他大学の公認会計士会との交流
  - ・ゴルフ大会への参加

(公認会計士法友会事務局より)

会費納入状況	H25年度	H26年度	H27年度	(単位:千円)
会費等総額	2,833	2,614	2,340	
終身会員登録	▲1,035	—	▲1,305	
差引	1,798	2,614	1,035	
支出	2,175	2,207	2,163	
収支差	▲377	407	▲1,128	

多くの会員の皆さまから、年度会費、年度寄付金、校友会寄付金のご協力を頂きました。誠にありがとうございます。  
ここ3カ年の状況は左記の通りで、校友会の終身会員登録のために特別にお願いした影響を除くと、年平均1,815千円の会費等を納入いただいています。しかし、会員数の増加に伴う会報等の印刷・発送コストの増加もあり、収支差がマイナスとなっています。今後は、より多くの会員の方等の会費の納入と経費削減を合わせておかない、収支差を改善する必要があると考えています。

決算・予算概要	H27年度予算	H27年度実績	H28年度予算	(単位:千円)
会費・寄付金	2,550	2,340	3,150	
校友会より	240	864	720	
収入合計	2,790	3,204	3,870	
総会・祝賀会開催費用	1,090	1,570	1,950	
終身会員登録	1,200	1,305	600	
奨学支援金	—	—	300	
その他	1,160	1,156	1,070	
支出合計	3,450	4,068	3,920	
収支差	▲660	▲864	▲50	
前期繰越	1,738	1,738	874	
次期繰越	1,078	874	824	

①収入の部  
昨年度は、校友会の終身会員追加登録40名に向けて、引き続き寄付金をお願いをいたしました。今年は、終身会員追加登録20名を目標にしています。

②支出の部  
試験合格者に対して、校友会から「校友会賞」を渡しておりますが、法友会がいったん受け取ってから合格者へ渡しておりますので、収入と支出の両建てになっています(600千円)。今年度も同額を予定しています。  
奨学支援金は、高度会計人育成センターとの連携により、簿記チャンピオン大会の成績優秀者に授与するものです(6名分)。

## 「法政士業の会」が設立しました！

当会は7月の定期総会において法政士業の会への加入を承認決議しましたが、他の専門士業4団体も法政士業の会への加入を決議し、法政大学における専門士業5団体により法政士業の会が11月26日に設立されて、いよいよ活動がスタートします。

### (設立総会)

11月26日(土)の設立総会は、神楽坂にある日本出版クラブにて開催され、公認会計士法友会からは27名、法政法曹会(弁護士)から22名、法政会計人会(税理士)から27名、不動産鑑定士橙法会から29名、行政書士オレンジ会から12名の会員が参加し、また、個人会員として加入を検討されている5士業以外の資格を持つ司法書士などの先生方も参集されました。設立総会では、設立趣旨が説明され、会則・役員・活動計画がそれぞれ承認されました。また、設立総会にご臨席いただいた田中優子総長からは、大学新入生等に対する士業資格試験の説明会開催や寄附講座の設定など学生に資格取得への道を示してくれることに大きく期待しているのご祝辞をいただきました。

### (設立総会終了後の懇親会)

法政士業の会・初代会長に就任した金子会長(法政法曹会会長)の挨拶により懇親会が開会し、田中総長・桑野校友会会長・神谷常務理事など多数のご来賓にご臨席を賜りました。桑野校友会会長からは「職域」ブロックにおける有力なパートナー組織同士が連携されることはたいへん喜ばしく校友会活動へのさらなる貢献を期待しているのご祝辞をいただき、神谷常務理事からは今年の公認会計士試験に付属校出身の法学2年生が合格したこと紹介など、公認会計士に対する期待のお言葉も頂戴しました。それぞれの専門分野で活躍する100名を超える「士」が一堂に会した懇親会は盛況に進み、皆様お待ちかねの校歌斉唱へ。今回は現役応援団ではなく、第80代応援団団長を務め現在は住宅会社に勤務し建設・不動産・鑑定士橙法会との繋がりで名古屋から懇親会に駆けつけてくれた櫻井直人氏に演舞をお願いしました。当初予定では第一応援歌「若き日の誇り」と校歌斉唱でしたが、皆様のリクエストを受けて「暁の勇者」と「勝利の賛歌」(神宮では優勝したときにしか歌われない曲)を特別にご披露いただき懇親会は最高潮に達し、田邊副会長(不動産鑑定士橙法会相談役)による三本締めにて大盛況のうちに閉会しました。

(山田 努(昭和59年卒) : 法政士業の会 理事)

### (今後の活動計画)

#### 法政士業の会 第1回会員研修セミナー

日時:平成29年3月18日(土)15時~18時

会場:法政大学 富士見ゲート棟G502教室(本年度に完成した新校舎です)

概要:各士業の紹介と連携についての基調講演・パネルディスカッションなど

※セミナー終了後18時半~ 交流懇親会



設立総会で会則・活動計画を説明する  
当会・太田会長  
(士業の会・理事に就任)



設立総会でご祝辞をいただいた  
田中優子総長



懇親会で挨拶する当会・和食顧問  
(士業の会・副会長に就任)

## 奨学支援金制度(簿記チャンピオン大会)報告

平成28年11月12日に簿記チャンピオン大会が市ヶ谷キャンパスの富士見ゲート校舎にて行われました。

オープンしたての校舎で100名を超す市ヶ谷キャンパスと多摩キャンパスの学生が日商簿記2級の問題に取り組んでいました。15時から2時間半の試験に臨んだ後

は、懇親会が開催され、講評や本番試験での留意事項などが講師陣から伝えられました。

法友会からは太田会長をはじめ8名の会員が出席し、学生へのアドバイスや質問に答えたり、マドレーヌの差し



入れを行うなど、学生との懇親を深めました。

さて、7月の総会で審議いたしました「公認会計士試験挑戦者に対する奨学支援金制度」の対象となる最初の簿記チャンピオン大会で、市ヶ谷キャンパス・多摩キャンパスの両キャンパスの総合成績上位6名に法友会から目録・奨学支援金資格証明書・奨学支援金支給申請書を



今回の奨学支援金資格授与の成績上位者4名とパチリ

渡しました。

太田会長は挨拶の中で、以下の点を学生に伝えていました。

- ・若手の公認会計士の会員に来てもらったので、この機会によく話を聞いて、是非、我々の業界に入ってきて欲しい
- ・公認会計士試験の合格発表があり、合格者が9年ぶりに増加した。これは、受験生が増加していることによるものであり、是非皆さんも挑戦して欲しい
- ・監査業界は、過去に就職浪人を出すようなことがあったが、現在そして将来にわたって公認会計士の需要は益々増えており、今後はそのようなことはないと考えている。年々減少していた受験生が今回増えたのもその影響と考えている
- ・そこで是非、簿記を一生懸命勉強している皆さんには、公認会計士試験に挑戦していただきたいということで、当法友会の会員の寄付金の一部を、受験を目指す皆さんへの「奨学支援金」として支給することにした
- ・今回は予算が限られているため成績上位の方6名を対象としたが、来年度も継続したいと考えているので、是非皆さん頑張って欲しい

今回、授与した6名が、今後、公認会計士試験に挑戦してくれることを期待しながら、お開きとなりました。

(後日談)

今回授与した6名の内、1名の方から支給申請がありました。こんなに早く申請が出るとは思っておりませんでした。勉強熱心なことはよいことと思います。申請内容に問題はありませんでしたので、支給を行いました。その1名の方からメッセージを頂いています(下記「奨学支援金支給申請者より」を参照してください)。

(公認会計士法友会事務局より)

(奨学支援金支給申請者より)

公認会計士法友会の皆様、この度は奨学金を支給して頂きありがとうございました。私は会計士試験現役合格を目指して日々勉強しております。今後どんどん内容が難しくなり、勉強も大変になってくると思いますが、今回の奨学金を励みとして今まで以上に一生懸命努力して参りたいと思います。今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

経営学部経営学科 1年 越湖裕也

## 平成27年度公認会計士試験合格者の近況

合格者の近況を自ら報告していただくコーナーです。

### ●長岡 ありさ(平成23年卒)



法友会の皆様、いつもお世話になっております。平成21年社会学部社会学科卒、平成23年法政大学会計大学院イノベーションマネジメント研究科アカウンティング専攻卒、平成27年度合格の長岡ありさと申します。現在は、有限責任監査法人トーマツに所属し、国内監査業務に携わっております。監査法人に就職してもう少しで1年が経とうとしておりますが、この場をお借りして近況をご報告させて頂きたいと思っております。

#### ○公認会計士を目指したきっかけ

私は、大学時代、環境社会学のゼミ(船橋晴俊先生のゼミ)に所属し「エネルギー政策と地域社会」をテーマに研究を行っておりました。その際、ヒアリング対象である事業会社を理解する資料として有価証券報告書の存在を知りました。当時、ここに書いてある文章だけでなく、財務諸表(財務諸表もこの時初めて見たのですが…)の数字や会計指標を理解することができれば、ヒアリングでより深い質問ができるのではないかと、思ったことが簿記や会計に興味を持ったきっかけでした。当時、私が会計士を目指そうと大学院進学を希望した時、誰よりも応援してくださったのが、今は亡き船橋晴俊先生でした。合格するまで時間がかかってしまったので船橋先生にご報告できなかつたのはとても残念でしたが、船橋先生に出会えていなかったら、きっと公認会計士試験に挑戦する勇気は湧いてこなかつたと思うので、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

#### ○監査法人での業務について

冒頭にも記載しましたが、私は国内監査業務に携わっております。私の所属する事業部は、他の国内監査部門と比較してクライアントの規模が大きく、基本的に一人につき上場会社が2社、会社法の会社が2~3社程割り当てられます。私がメインで関与させて頂いている上場2社(2社とも3月決算)は、どちらも業界をリードするような製造業の会社です。もともと大学時代の興味分野から、パブリック志望で就職活動を始めたのですが、監査業務を通して論理的に物事を考える力や、分析を行う能力等の基礎力を培いたく思うようになりました。そこで、まずは一般事業会社、それも内部統制の整ったある程度規模の大きい会社の監査を行いたいという思いから、現在所属する国内監査の事業部を志望しました。内部統制が整っている会社を見たいと希望したものの、会社の規模が大きいほど業務フローが複雑であることが多く、会社の事業の理解が追い付いていない中、業務フローを理解するのはとても困難でした。そして、業務フ

ローの理解の次には、リスクの把握とそれに係るコントロールを確認し、現場の方にヒアリングを行って整備状況の評価を行います。このヒアリングが私はとても苦手で、会社の方に何を聞いたら良いのか、どういう質問の仕方が適切か、どういう視点でヒアリングを行うべきなのか、いろいろ考えてしまつて難しかったです。ただ、一緒に行った先輩のヒアリングを観察して、どういう視点で質問をしているのか、会社の方により多くの情報を教えて頂くにはどういった聞き方をしたら良いのか、これらを意識して学ぼうとしています。ヒアリングは経験とはいいますが、前回のヒアリングより少しでも良いヒアリングができるよう、会社の事業と業務フローの理解、また業界知識などを身に着けるとともに深めていきたいです。

#### ○法政を通じた人との繋がりについて

冒頭にも述べましたが、私は大学が社会学部で、その後法政の会計大学院に進学しました。

そのため、法政には6年間通いました。大学院を卒業した後も、大学院で授業アシスタントをさせて頂いたり、大学院の先輩の紹介で会計事務所に勤めたりしながら勉強を続けることができました。会計士に合格した後も、様々な分野で活動する大学や大学院の友達に会ってたくさんの元気をもらい、大学院の先生や会計士講座の先生にお会いして仕事の話など近況を報告するなどしています。また、法友会の集まりに出席させて頂く機会や、こうした会報への寄稿など、法政を卒業したことで多くのご縁を頂いていると感じています。

#### ○就職してからの趣味について

受験勉強期間に趣味がなくなってしまったのですが、最近趣味にしたいと思うのがゴルフです。私の年代になると、友達にゴルフを始めている人も多くなります。以前から興味はありつつなかなか踏み出す勇気がなかつたのですが、この秋から同期とゴルフスクールに通い始めました。ジム通いは続かなかつたのですが、ゴルフは続いています。今の目標は、ちょっとずつ忙しくなり始める時期ですが、2~3月のラウンドデビューです。

#### ○最後に

法友会の皆様、今回は会報への寄稿という貴重な機会を頂き、誠にありがとうございます。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## ゴルフコンペ関係

### 1. 第17回法友会ゴルフコンペのご報告

平成28年9月1日(木)茨城ゴルフ倶楽部の東コースにて、法友会コンペを開催しました。今回のコンペは、十月会の練習ラウンドを兼ねて行われました。成績は、越智先輩がグロス90、ネット74で優勝、和食先生の奥様がグロス89、ネット77で準優勝されました。

### 2. 第15回オール法政ゴルフ大会“総長杯”参加報告

平成28年9月5日(月)、和食先生、井上先輩、二宮先輩、佐藤先輩、葦澤先輩、石川先輩、とともに千葉県キングフィールドゴルフクラブにて開催された、オール法政ゴルフ大会“総長杯”に参加しました。総勢175人と大規模なコンペのため、貸し切りで、まさに『法政一色』の環境の中、田中優子総長もラウンドされました。井上先輩、葦澤先輩が見事、入賞し、総長より、サイン入りの書籍等の賞品を授与されました。パーティーの最後はもちろん、参加者全員で肩を組んで、校歌を熱唱しました！

是非、皆さんも次回の総長杯に参加して、素敵な総長とラウンドしましょう！

### 3. 第29回大学対抗ゴルフコンペ“十月会”のご報告

平成28年10月10日(月)、茨城ゴルフ倶楽部にて、昨年の優勝校である我が校が幹事校として、大学対抗ゴルフコンペ“十月会”を開催しました。茨城ゴルフ倶楽部は、普段、コンペでの使用は難しい名門コースですが、佐藤先輩、酒井先輩、石川先輩がメンバーの特権を生かし、特別に開催させていただけることになりました。近場で、名門コースということもあり、参加校13校、総勢97名参加という盛大なコンペとなりました。我が校からは、14名が参加しました。



大学別の勝負は、上位4名のネットスコアで競い合い、事前練習の成果もあってか、石川先輩、葦澤先輩、和食先生、越智先輩が上位に食い込み、我が校がまさかの2年連続優勝を果たしました！

が、前年及び前々年の優勝校が1位のスコアになった場合、その次の順位チームが優勝となるため、残念ながら我が校は、優勝校の対象外となり、2位の慶應大学が今大会の優勝校となりました。

コンペ後のパーティーにおいても、我が校のチームワークを発揮し、参加者一同、法政大学の法被を着て、他校からの参加者をおもてなしました。参加校の校歌をバックミュージックにした歴代の十月会コンペ写真のスライドショーも大変好評で、参加者からは「さすが、法政大学だ！」と絶賛の声を多くいただきました。



参加者の皆さん、茨城ゴルフ倶楽部を大変気に入られたようで、来年の幹事校である慶應大学が、早速、来年の開催地として、予約を取って帰られました！

ということで、来年の十月会も、本年同様、茨城ゴルフ倶楽部にて、2017年10月9日(月、祝日)に開催される予定です！皆さん、是非、お気軽にご参加ください！

(浜田 章子(平成14年卒))

## 各種参加報告

### 一般財団法人法政大学経営者懇談会参加報告

平成28年6月15日(水)ボアソナード・タワーにて開催された第28回公開講演会に参加しました。講演会では友&愛、ビザカルフォルニアなどを創業された「日本ニュービジネス会の草分け」牛久保洋次様より、成功する秘訣やこれから伸びるビジネスなどについて、ユーモアを交えながら解説頂きました。少しご紹介すると、成功するためには、ツキを呼び込む志・友情・愛情そして「縁」を大切に、自分自身の人気や魅力を日々研鑽し、非常識の発見・早め

に変えることを心がけることなど、非常にためになるお話を頂きました。その後の懇談会でも気さくにお声掛け頂き、自ら主催する経営者交流会へもお誘い頂き良い関係を続けています。

越智 一成(平成9年卒)



### 不動産鑑定士橙法会の講演会・懇親会参加報告

平成28年6月28日(火)に不動産鑑定士橙法会の第15回総会がボアソナード・タワーにて開催され、総会後の講演会・懇親会に公認会計士法友会から太田会長と山田が出席して参りました。

講演会では「これからの不動産マーケット」と題した大槻啓子氏のお話を拝聴することができました。大槻さんは法政大学OGでは

ありませんが菊池由美子会長のご友人とのことで、モルガン・スタンレー証券の不動産・建設担当アナリストとしてランキング上位の高い評価を獲得し、現在は投資銀行本部不動産グループ・シニアアドバイザーとしてご活躍されている方です。若かりしアナリスト時代の激務から将来の不動産マーケットのことまで幅広い話で、公

山田 努(昭和59年卒)

認会計士にとっても参考になる貴重なお話を伺うことができました。懇親会には昨年に続き出席したため雰囲気にも馴染めて、締

めの応援団演奏・校歌では樋口団長や4年生幹部中心の精鋭が揃いたいへん盛り上がった懇親会となりました。

### 日本大学桜門会計人会定期総会懇親会参加報告

会長 太田 莊一(昭和52年卒)

平成28年7月5日(火)市ヶ谷の日本大学桜門会館4Fで行われた日本大学桜門会計人会の定時総会懇親会に、太田が出席して参りました。

懇親会は、坂上誠会長の開会挨拶に始まりましたが、今回の定期総会において、役員任期交代があり、新会長には、木田正幸氏が就任されたとのことでした。坂上誠前会長には、長年にわたって会長職をご担当され、本当にお疲れ様でした。また、木田新会長

には、若手のリーダーとして会計人会活動を益々活性化していくことを期待したいのご挨拶がありました。

また、各友好大学の会計人会の来賓の方々の紹介とご挨拶があり、歓談の輪が広がりました。各友好大学においては、会長をはじめとする役員についても若手会員への新陳代謝が進めています。我が法友会においても是非若手会員の役員登用による活躍を期待したいと思います。

### 公認会計士白門会懇親会参加報告

飯塚 昇(昭和49年卒)

私の受験時代の試験会場は東京農業大学でしたが、樹に張られた「白門会」の張り紙の下に、多くの(優秀そうな)受験生が集まっていた光景が浮かび、法政大学商学研究会に所属していた私は、有名な名門・白門会に負けまいと気負って試験に臨んだのを思い出します。……簡単に合格しませんでした。……

さて、懇親会は平成28年7月10日(木)、いつものように中央大学駿河台記念館で開催されましたが、輩出した公認会計士の数からすれば参加会員数は意外に少なく、また、若手会計士の参加が少ないようでした。

私も若手会計士の参加がなくては、目的に掲げる「母校の発展と後進の育成」を続けていくことができません。

そのための取り組みの一つとして、副会長の増員と幹事の創設をして活動した一年でしたが、さらに、若手会計士の参加を促す取り組みを具体策に実行していく必要があると感じています。



### 明治大学公認会計士会懇親会参加報告

河西 正之(平成元年卒)

平成28年7月14日(木)に明治大学公認会計士会の懇親会に太田会長と共に参加して参りました。

同会では「絆の明治」を合い言葉に、会員相互のつながりを深めているようです。

懇親会には学長、理事が多く出席されているのが印象的でした。また、大学の財務担当部長に同会の会員が就任されました。

そして、大学の監査人を同会が指名しているとのことで、大学によって、かなり差があるという印象を受けました。

同会に登録しているのが約800名で非会員が約700名、合計約1,500名の規模になっているとのことで、法友会の倍の規模です。いろいろと考えさせられる懇親会でした。

### 専修大会計人会懇親会参加報告

河西 正之(平成元年卒)

平成28年7月22日(金)に専修大会計人会の懇親会に飯塚副会長と共に参加して参りました。

同会が一番の歴史があるそうで、その分、出席会員の高齢化が進行しており、懸念点であるとのことでした。

若手の新たな参加がないことから、役員も再選となっており、交

代ができていないことが課題になっているそうです。

同会の会員には、同会が母校に貢献していることをアピールし、校友会活動への参加などを促していき、活性化する必要があるとのことでした。



### 法政会計人会懇親会参加報告

飯塚 昇(昭和49年卒)

平成28年9月24日(土)、母校・ボアソナード・タワーにて法政会計人会懇親会に参加しました。

法政会計人は、主として税理士として活躍されている方々で組織されています。私も法友会とともに会計プロフェッショナルとして連携して母校の発展と後進育成に貢献していかなくてはなりません。このたび創立された「法政士業の会」での連携を良い方向につなげていかなくてはなりません。

さて、当日の講演会は、加瀬郁子先生(東京大学大学院 学際情報学府 佐倉統研究室 博士課程)による「税理士が消える?」、「税

理士が『消える職業』にならないために今何をすべきか?」のセンセーショナルなテーマでした。

公認会計士の監査業務もAIにとってかわられる仕事との記事もあり、関心のあるテーマでしたが、講演を聞くことができませんでしたので、機会があればお話を伺いたいと思っています。



## 公認会計士フォーラム茨城大会参加報告

川村 敬史(平成18年卒)

平成28年10月6日、公認会計士フォーラム茨城大会が水戸プラザホテルで開催され多数の法友会会員が参加しました。この大会は公認会計士東京会を構成する各都県で毎年順番に開催される大規模な研修会懇親会で今回で44回目を迎えます。毎回開催ま

で一年がかりで準備が必要となる行事ですが茨城大会は茨城県会で法友会所属の小林保弘会員、赤岩茂会員の多大なるご尽力もあって盛大に開催されました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。

## 一般財団法人法政大学経営者懇談会参加報告

越智 一成(平成9年卒)

平成28年10月18日(火)アルカディア市ヶ谷にて開催された経営者懇談会の記念講演では、公認会計士法友会 小野隆良会員が「経営者のための会計の基礎知識」というテーマで、決算書の読み

方などについて講演しました。その後の懇談会では、講演の内容や、元米軍少佐ウィリアムJ ヤング様からのテロ発生時の自己防衛法に関するお話しなどで交歓することができました。

## 「第20回全国大会会計人会サミット」参加報告

渥美 龍彦(昭和58年卒)

2016年10月15日(土)、「第20回全国大会会計人会サミット」が東京富士大学二上講堂で、開催され、公認会計士法友会からは、太田会長、飯塚副会長、渥美が参加しました。

東京富士大学は高田馬場にあり、前身の富士短期大学時代を含め、これまでに500人を超える税理士・公認会計士を輩出しているそうです。主催の「東京富士大会会計人会」の実行委員会メンバーには女性も多く見受けられました。

このサミットは、1997年(平成9年)から各大学の回り持ちで開催され、2010年(平成22年)の第14回は法政大学で開催し盛会でしたが、昨年の第19回西南学院大学での開催時点では次回開催校が決定しておらず、本年3月に正式決定したそうです。今回は28大学30団体、約150人の参加でした。

サミット会議は、岩下忠吾実行委員長による基調講演「歪みのない消費税を」、次いで東京富士大会会計人会 による基調講演に基づくディスカッションが行われました。

- ・全事業者822万(営利法人、公益法人、学校法人、社会福祉法人、個人の事業所得者と不動産所得者)のうち約36%のみが消費税の納税義務者であるという事実をどう考えるか、これについてどう対処すべきか、そのためにはどのような方法があるか。
- ・非課税からゼロ税率課税への改正を

・租税は公平、中立(効率)、簡素を基本としているが、消費税に関しては、①逆進性の問題、②帳簿方式の問題、③簡易課税の益税の問題、④消費税の届出書が複雑で、今後税率10%、軽減税率、インボイスとますます複雑になろうとしている。今こそ、消費税制の歪みを是正すべきである。

全国大学サミットの宣言、閉会式の後、場所を二上講堂4階に移しての懇親会が行われました。法政のときのような派手な演出はありませんでしたが、

アトラクションとしてモンゴル馬頭琴奏がありました。各参加団体による挨拶も行われましたが、公認会計士の参加は少ないように見受けられました。

懇親会の場で、次回開催校は成蹊大学に決定しました。



## 行政書士オレンジ会の懇親会参加報告

山田 努(昭和59年卒)

平成28年10月24日(月)に行政書士オレンジ会の第10回総会終了後の懇親会が飯田橋ワインバル八十郎にて開催され、公認会計士法友会から太田会長と山田が出席して参りました。

行政書士オレンジ会の行事に公認会計士法友会がお招きを受けるのは初めてのことであり、どのような方々とお会いできるのか楽しみにして懇親会の会場に向かいました。当日は18時から懇親会が始まりましたが、平日にもかかわらず定刻には皆さん集まら

れており、それぞれの方々が個人で開業されていることを実感しました。貸切の店内ですぐに打ち解け、行政書士オレンジ会の方々の元気のよさ・パワーを感じ、また、明治・立教など各大学の行政書士会の方々からも法政がんばれ！と激励を受けたり、楽しいひとときを過ごしながら、専門士業の各団体の連携を考えることができた一日となりました。

## 法政大学法曹会定時総会参加報告

小場 貴之(昭和63年卒)

平成38年10月28日(金)、法政大学院棟において、法政大学法曹会の定時総会に出席して参りました。法友会からは、太田会長、山田副会長、そして私の3名の出席でした。

まず、定時総会が、金子征史会長の挨拶から始まり、議事が山崎雅彦事務局長の進行で行われました。議題の中には「法政士業の会」に関する件もありました。

定時総会終了後に法政大学出身の金原亭伯楽師匠による「仕事について考える」という講演がありました。落語ではありませんでしたが、笑いをとりながら改めて我々士業について考えることができました。

初めて、法曹会の定時総会に出席しましたが大変興味深かったです。

## 公認会計士法友会

公認会計士法友会事務局  
〒169-0074  
東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ301  
E-mail: hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を  
目指して活動しています。

12月末現在の会員数 698名

ホームページもご覧ください。  
<http://hoyukai.la.cocacn.jp/>  
IDはhoyukai  
パスワードはdoradora100  
(平成29年1月31日より)



## 編集後記

校舎の建て替えが進んでいます。新校舎の富士見ゲートがオープンしました。一方で、旧校舎は立ち入り禁止になる部分が増え、中に入れません。裏の庭園も入れなくなっていま

す。新旧が混ざり合っている不思議な光景です。合格祝賀会に来ていただき、新旧の校舎を眺めてみてはいかがでしょうか。



## 年度会費及び寄付金のご協力をお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、他校の会計士団体への参加費、慶弔費などの支出が必要で、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただける方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で、定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費、会報や住所録の作成費用が増大しています。皆様の、ご理解とご協力を強くお願いする次第です。

今回の会報発送とともに、平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)会費の納入と寄付金のお願いをさせていただきます。

また、平成28年度は「公認会計士試験挑戦者に対する奨学支援金制度」(以下、奨学支援金)がスタートいたしますが、この支援金は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われることとなります。

毎年、寄付金等をお支払いいただく際に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまで会員の皆様のご厚意をお願いするものであります。

年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・校友会寄付金・奨学支援金・その他寄付金などの寄付金として寄付金5,000円(一口)を加えて合計10,000円を納入いただければ助かります。

もし、ご理解をいただけるのであれば、年度会費の5,000円と寄付金の10,000円(二口)、合計15,000円を納入いただけますと大変助かります。

振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座をお願いいたします。

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 東中野支店(店番152)  
普通預金・口座番号 1559256 口座名・公認会計士法友会  
<連絡先>

〒169-0074 東京都新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ  
公認会計士法友会事務局

携帯電話番号 080-8886-0375 m.kawa@mbr.nifty.com  
法友会メールアドレス hosei.hoyukai@gmail.com

## Books!

書籍の出版情報を事務局までお寄せください。会報に掲載いたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。

※書籍寄贈中止のお願い

会計大学院(イノベーション・マネジメント研究科アカウントング専攻)の廃止に伴い、書籍を開架しておく場所が無くなってしまいました。新しい場所が見つかるまで、書籍の受入は中止させていただきたく、お願いいたします。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思いますので、お寄せいただきますよう、お願いいたします。